

第Ⅱ章 介護予防の総合的評価・分析に関する 研究委員会

目 次

第Ⅱ章 介護予防の総合的評価・分析に関する研究委員会 13

1. 目的 13
2. 方法 13
3. 結果の概要 13

〈実施委員会報告〉

1. 介護予防事業のシステム面を強化したモデル（システム介入） 15
 1. 目的 15
 2. 方法 15
 3. 結果 19
 4. 考察 22
2. より効果の見込まれる介護予防プログラムを実施するモデル（プログラム介入）
 - a. 運動器疾患対策の効果（B－1モデル事業） 24
 1. はじめに 24
 2. 方法 24
 3. 結果 28
 4. 考察 32
 5. 結論 33
 - b. 複合プログラム 44
 1. 研究目的 44
 2. 研究方法 44
 3. 研究結果 44
 4. 考察 46
 5. 結果 46
 6. 研究発表 46
 - c. 認知機能低下予防プログラム 48
 1. MCR報告書 48
 2. 板橋区における認知機能低下の抑制効果に関する研究報告書 50
 3. 高崎市における認知機能低下の抑制効果に関する研究報告書 77
 4. 大府市における認知機能低下抑制効果に関する実証研究報告書 93

〈進捗管理委員会報告〉

- a. 効果評価 113
 1. 背景 113
 2. 研究計画の概要 113
 3. 中間集計結果の概要（平成22年12月末時点） 114
 4. 考察 121
- b. モニタリング 122
 1. はじめに 122

2. 方法 122
3. 結果 123
4. まとめ 123

第Ⅱ章 介護予防の総合的評価・分析に関する研究委員会

1. 目的

本研究では、第Ⅰ章の「1. 目的」にあるように、今後の介護予防のあり方及び具体的なサービスについて一定の結論を出すことを最終目的とし、介護予防実態調査分析支援事業において、収集された「介護予防事業」に係る情報を科学的に分析するための方法論等を検討する。

2. 方法

本研究実施にあたっては、以下のようなメンバーで、2つの小委員会を設置し、前記の目的の達成に努めた。

【委員長】

鈴木 隆雄 国立長寿医療センター研究所 所長

【委員】

<実施委員会>

①介護予防事業のシステム面を強化したモデル（システム介入）

吉田 英世 東京都健康長寿医療センター 自立促進と介護予防研究チーム
研究副部長

②より効果が見込まれる介護予防プログラムを実施するモデル（プログラム介入）

a.運動器疾患対策の効果

大淵 修一 東京都健康長寿医療センター 研究副部長

b.複合プログラム

小坂 健 東北大学大学院歯学研究科国際歯科保健学分野 教授

c.認知機能低下プログラム

鈴木 隆雄 国立長寿医療センター研究所 所長

<進捗管理委員会>

a.効果評価

成川 衛 北里大学大学院薬学研究科臨床医学(医薬開発学) 准教授

b.モニタリング

安村 誠司 福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座 教授

3. 結果の概要

2つの小委員会においては、以下のことを実施した。（結果の詳細は、次項以降参照）

<実施委員会>

運動器疾患対策プログラムおよび複合プログラムについては、介護予防実態調査分析支援事業におけるモデル事業の実施内容、モデル事業を評価するための調査票を作成した。また、モデル事業について、平成22年12月末までの状況を調査・分析した。

認知機能低下予防プログラムについては、研究交流会を開催し、平成23年から開始するモデル事業のプロトコル作成および評価方法の検討を行った。

<進捗管理委員会>

進捗管理委員会では、介護予防実態調査分析支援事業において、モデル事業の効果等を検証するための調査デザインを検討するとともに、モデル事業の実施市町村における進捗管理を行った。